



ニーナの服を作しましょう

ニーナ本体と服の作り方の基本を解説しました。
写真だから説明できる、ちょっとしたコツも満載です。
ぜひマスターして、あなたのニーナを作ってくださいね。



本書に必要な用具と材料

用具

- 手ぬい針 ●ししゅう針 ●まち針
- 毛糸用とじ針 ●裁ちばさみ ●糸切りばさみ
- 定規 ●メジャー ●印つけペン
- ミシン(手ぬいでも作れます)

材料

- 手ぬい糸 ●ミシン糸 ●25番ししゅう糸 ●接着芯など

本書で使う主な布地

コットン



ニット地



レース地



合皮



使う糸や針は普通地でOK。
ニットをミシンで縫うときは
布の下に紙を敷くと縫いやすい。
合皮は25番刺しゅう糸やミシン糸
2本どりで縫います

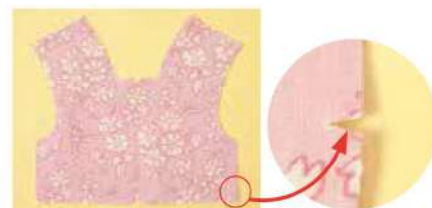
ぬいしろつき型紙の使い方



1 本書の型紙はぬいしろつきなので、型紙の輪郭に沿って布を裁断する。型紙が半身になっている場合は、中表に折った布と型紙の「わ」の位置を合わせる。



2 合印を入れる。ほかのパーツと合わせるときの目印となり、本書では0.2~0.3cm、斜めに切り込みを入れる。



3 型紙をはずして布を開く。切り込みの位置がV字形になっている。



4 実際にぬう線(でき上がり線)は、ぬいしろ幅にしたハガキ程度の厚紙を使う方法がおすすめ。写真は0.7cm幅に切った厚紙で、これを布端に合わせて線を引くと、かんたんにでき上がり線が引ける。



5 カーブの部分も布端に沿って厚紙を少しずつずらすと、きれいにでき上がり線が引ける。



ニーナの服の作り方

★身ごろをぬう



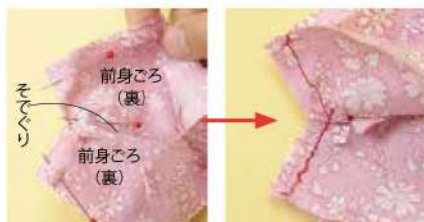
- 1** 前身ごろ2枚を中表に合わせてそでぐり、肩、えりぐりを縫ってぬう。このとき脇をぬってしまわないように注意して、ぬえたらえりぐりの角、そでぐりのカーブに切り込みを入れ、肩の両角を斜めに切り落とす。



- 2** ぬいしろを2枚いっしょに折り、アイロンでしっかり押さえる。表に返す。



- 3** 後ろ身ごろも同様にぬい、前身ごろと後ろ身ごろを合わせる。



- 4** 前後身ごろを中表に合わせ、脇を開いて持ち上げる。そでぐりのぬいしろを開き、まち針でとめてからぬう。ここでは片脇のみぬう。

★スカートにギャザーを寄せる



- 1** 2枚のスカートの片脇を中表にぬい合わせて、ウエストのでき上がり線より少し上をぬう。両端は返しぬいをしない。中央から両脇に向かって下糸を引く。写真は右半分を引いているところ。



- 2** 左側の下糸を引いて、左半分にギャザーを寄せる。糸が切れないように、少しずつ慎重に引っ張る。



- 3** 身ごろを4でぬった脇から開き、スカートと中表に合わせる。身ごろのウエストの長さに合うようギャザーの寄せ具合を調節して、まち針でとめる。

★スカートと身ごろをぬう



- 1** スカートと身ごろを中表に合わせてスカート側からぬう。このとき身ごろの1枚はぬわないようによけておく(写真下)。下の写真は身ごろ側から見たところ。

- 2** 1のぬいしろを身ごろ側に倒して、脇から中表に折る。片脇を4と同じように開いて中表に合わせ、身ごろからスカートまでを縫ってぬう。



★スナップをつける



前身ごろ側に凸側、後ろ身ごろ側に凹側のスナップをつける (p.78)。身ごろは2枚重なっているの、糸は表側に出さずにぬい、ぬい目が表から見えないようにする。



合皮をぬうとき



針穴が残るため合皮にはまち針を打てないが、ダブルクリップで固定するとぬいやすい。

チュールの印つけ



チュールには直接印がつけられないが、裁断する長さに合わせて線を引いた色紙を敷いて、その上にチュールをのせると、線に沿ってかんたんに寸法どおりに裁てる。チュールが動かないように、マスキングテープなどで軽くとめておくとよい。チュールはアイロン不可。